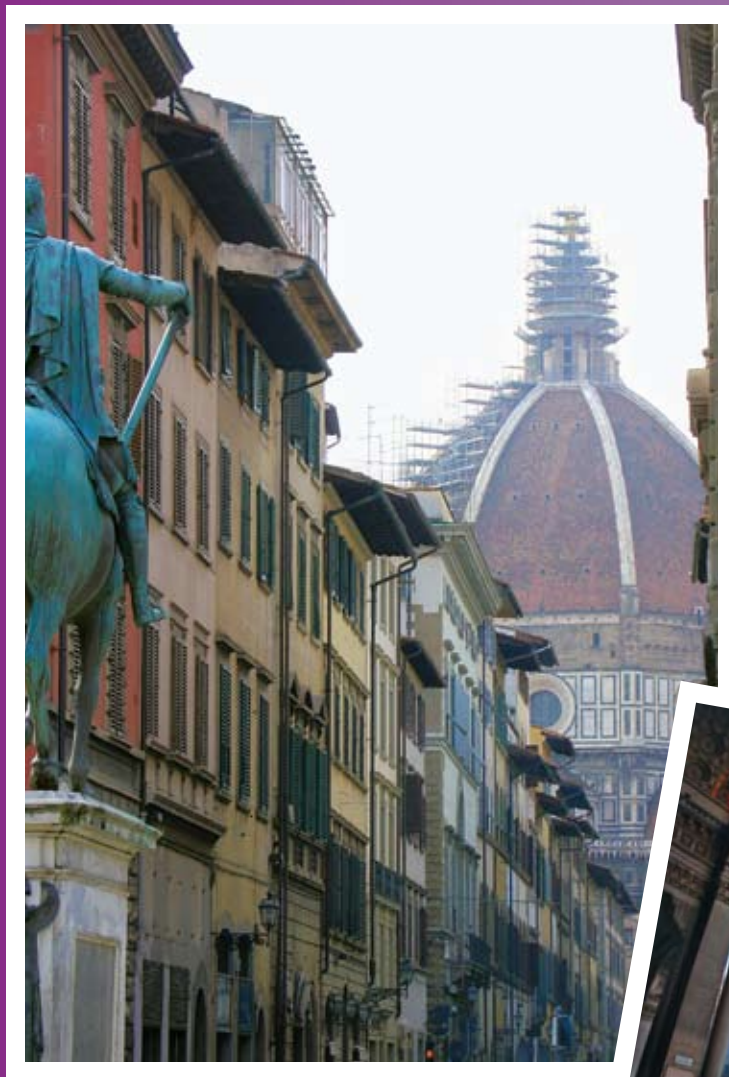


# Architect's Gallery

わたしのフォトメモ——街並み編 | 藤木隆男 | Takao Fujiki



## 路地からのドゥオモ

フィレンツェを訪れるのは30年ぶり。

学生と行くヨーロッパ建築巡礼の中のわずか1泊の逗留だが、

ドゥオモはもちろんブルネレスキやアルベルティ、ポツィチェリからダ・ヴィンチまで盛りだくさんのスケジュールを忙しくこなす。

いきおい講師の自由時間は深夜か早朝の散歩ぐらいだ。

写真はホテルをそと抜け出し、やみくもに路地を<sup>へめぐ</sup>経巡り、ふと見上げたドゥオモである。

神、市民社会、芸術文化などヨーロッパ中世の調和した時間が積層したかのようなVia dei Servi通りの街並みは、次の30年も寸分違わぬ断面を示しているのだろうか。

それにしてもヨーロッパの歴史都市はどこも修理に熱心だ。

左——撮影:2006年

右——大規模に修理中のミラノ大聖堂、撮影:2006年

ふじき・たかお——建築家/藤木隆男建築研究所代表

1946年生まれ。東京都立大学工学部建築学科卒業。坂倉建築研究所を経て、藤木隆男建築研究所設立。東京都立大学、芝浦工業大学、明治大学などで教職。

主な作品:育英学院サレジオ小・中学校[1993]、西部の家[1996]、宮城県がんセンター緩和ケア病棟[2002]など。